

大すきだよ、ラナン

二年 増田花音

わたしには、とても大切で大すきなねこがいました。スコティッシュフォールドの男の子で名前は、ラナンといいます。ラナンは、もともとひどいかんきょうのなかでそだてられていたほこねこでした。ラナンは、わたしがうまれる前からいえて、どのしゃしんをみてもわたしをちかくでみまもってくれているようでした。ラナンは、まいにちわたしが学校に行くときいえをでるまですつとげんかんでお見おくりしてくれたり、わたしがかぜをひいたときずつとおなかの上のつてわたしのことをあためてかんびょうしてくれました。

そんな元気でだからもあいされるラナンがきょ年の十月にからだがおもそうでねていることが多くなりました。わたしは、ずつと元気なすがたしかみてこなかったので、とてもしんぱいで早く元気になってほしいと思っていました。それからなん日かすぎて、学校からかえるとお母さんからラナンがびょういんでなくなったとききました。わたしは、まいにちラナンがいることがあたりまえだともっていたので、しんじられなくてまい日ないていました。

かぞくでおそうしきの日におもいがけないことがおきました。ラナンのためにおそなえしたお花がおきょうにあわせてちつていきました。みんなありがとうとなみだをながしてくれているようにしました。

ラナンがなくなったりゆうは、たとうがいによるびょうきがげんいんでした。どうぶつは、かいぬしをえらぶことができます。ラナンのようにどうぶつは、いっばいのあいじょうをくれます。わたしは、これからラナンにもらいたいっばいのあいじょうをどうぶつにかえしていきたいとおもいます。